

絶滅危惧種の海鳥、エトピリカの雛が誕生しました

～ 「アリューシャン列島」水槽にて親鳥が子育て中です ～

海遊館では2022年8月12日(金)に、絶滅危惧種の海鳥・エトピリカの雛が誕生しました。
海遊館でのエトピリカの繁殖は、2019年の飼育開始から4度目となります。

7月2日に「アリューシャン列島」水槽内の巣穴にて卵を確認しました。親鳥が抱卵を続け、8月12日に孵化を確認しました。孵化当日に親鳥からの摂餌を確認しています。

現在、雛は巣穴の中で親鳥と過ごしているため、水槽外部から様子を見るのが難しいですが、孵化後50日ほどで巣立ちを迎え、2～3年かけて成鳥と同じ姿になります。



エトピリカの雛(2022年8月15日撮影)

海遊館は今後も、エトピリカをはじめとする多様な生き物たちや自然環境の保全に貢献するとともに、エトピリカの生態や魅力を発信していきたいと考えています。

【担当飼育員コメント】

親鳥の2羽(おこっぺ、ところ)は子育てに慣れているので、私たち飼育員も安心して見守ることができます。エトピリカは巣の奥で子育てするので、巣立ちまでは雛の姿を見るのは難しいですが、子育てがうまくいくように親子をしっかりサポートしていきたいと思います。子育ての間、しっかり雛の様子をお伝えしていきたいと思っています。

【取材・素材提供について】

毎朝実施している雛の体重測定の様子の撮影や
映像・写真の提供ができます。
ご希望の場合は、下記までご連絡ください。

海遊館 広報チーム(06-6576-5529)



体重測定の様子

【 誕生したエトピリカの雛について 】

産卵日 : 2022年7月2日

孵化日 : 2022年8月12日

大きさ : 体重 54.7g (孵化日)

体重 56.3g (8月15日時点)

親鳥 : 父親 愛称「おこっぺ」

母親 愛称「ところ」

(過去の繁殖と同ペア)



餌を食べるエトピリカの雛(2022年8月12日撮影)

【 エトピリカについて 】

和名 : エトピリカ

英名 : Tufted puffin

学名 : *Fratercula cirrhata*

北太平洋の亜寒帯域に広く生息する海鳥で、現在、日本国内では北海道の一部地域でのみ繁殖が確認されているものの、その数は少なく、環境省レッドリストにて絶滅危惧 IA 類に分類されている。

海遊館では現在、今回誕生した雛を含む8羽を飼育展示しています。



エトピリカ (成鳥)

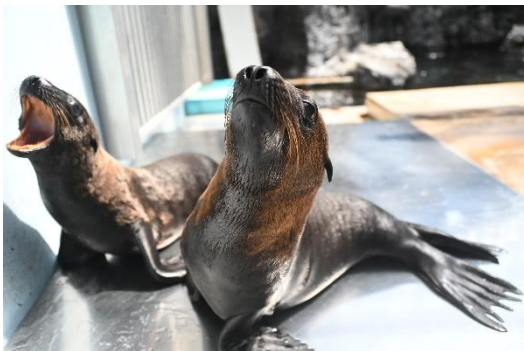
【 レッドリスト絶滅危惧 IA 類 】

「日本に生息又は生育する野生生物について、専門家で構成される検討会が、生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を科学的・客観的に評価し、その結果をリストにまとめたもの」。

また、絶滅危惧 IA 類は「ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの」を指す。

(環境省 HP 参照)

海遊館では今年、エトピリカの他にも、カリフォルニアアシカ2頭(6月19日、6月22日)、
ジェンツーペンギン1羽(6月23日)がそれぞれ誕生しています。



カリフォルニアアシカの赤ちゃん



ジェンツーペンギンの雛